



東京浅草中央ロータリークラブ 週報

〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL: http://www.asachu-rc.jp

2014 - 2015 年度テーマ

R.I. テーマ 「ロータリーに輝きを」

R.I. 会長 ゲイリー C.K. ホアン
地区ガバナー 鈴木 孝 雄

クラブテーマ 「全員参加で楽しく」

クラブ会長 尾 泉 良 和



2015 年 4 月 22 日

第 1404 回例会

会長 尾 泉 良 和
幹事 潮 田 幸 一

本日の卓話

「炉辺報告」

今後の卓話予定

4/29	休 会 (昭和の日)	
5/6	振替休日	
5/13	会員卓話	園部容弘会員
5/20	仮称「杵屋流三味線のお話」	杵屋静子師匠
5/27	「為替の行方」	三井住友銀行 関 香 織 様



5月結婚記念日

5日 (40周年) 長沼ご夫妻 ・ 9日 (40周年) 小林(雅)ご夫妻
 11日 (40周年) 原田ご夫妻 ・ 11日 (28周年) 田村ご夫妻
 11日 (18周年) 馬場ご夫妻 ・ 27日 (52周年) 吉田ご夫妻
 28日 (51周年) 宮村ご夫妻

前回 (4/15 1403 回例会) の記録

来 訪 者 紹 介

◆ゲスト	5名	大紀元時報 元編集長 牧 聡士様 岩下 連様、張 英花様 東京青年会議所 大谷拓史様、吉田具之様
◆ビジター	0名	

出 席 報 告

総会員数	休 会	出席免除	出 席	欠 席	出席率	修 正 出 席 率
43 名	1 名	4 名	34 名	5 名	87.18%	1401 回例会修正 欠席 3 名・出席率 92.68%

会長挨拶 <尾泉会長>

・本日のゲストは大紀元時報 元編集長 牧 聡士様で「日本人の好きな中国、嫌いな中国 文化史的な視点から」ということで、お話いただきます。

- ・公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より、我がクラブへ第16回米山功労クラブの感謝状が届いています。
- ・先週の例会は地区協議会と重なり休会でした。地区協議会出席の皆様御苦勞様でした。

幹事報告 <潮田幹事>

・東京板橋RCおよび東京池袋西RCおよび東京板橋セントラルRCより例会場変更のお

知らせが届いております。クラブ事務所にてご確認ください。

わんぱく相撲台東区大会のお知らせ

本日、東京青年会議所台東地区委員会の大谷拓史様、吉田具之様が「わんぱく相撲台東区大会」の後援のご案内に来られました。下記日程で行われますので、時間の許される皆様は是非、足をお運びください。

日 時：4月29日（水） 10時～17時
場 所：台東リバーサイドスポーツセンター

委員会報告

<社会奉仕委員会 齋藤委員長>

- ・3月28日～29日に復興支援被災地視察として福島を訪問した報告書を配布させていただきました。ぜひご一読下さい。

<地区青少年奉仕委員会 藤掛委員>

- ・東京御苑ロータリークラブ設立総会
2580地区に新たに東京御苑ロータリークラブが誕生いたしました。その設立総会

が地区研修協議会の翌日、4月9日に、新宿ワシントンホテルに於きまして設立総会が開催され、地区役員として出席いたしました。3月25日に地区拡大増強委員会をスポンサーとして国際ロータリーから正式に加盟承認され、加盟認証状伝達式が5月30日に行われます。詳しくはクラブのHPをご覧ください。

<http://rotary.xwind.jp/index.html>

ニコニコボックス

<尾泉会長、潮田幹事>

- ・牧 聡士様、本日の卓話よろしくお願いたします。

<宮村、原田、海内、古谷、山尾、藤掛>

- ・本日の卓話「日本人の好きな中国、嫌いな中国 文化史的な視点から」「大紀元時報」元編集長 牧 聡士様、宜しくお願します。

<小林(雅)、上原、太田>

- ・世界を抜き去れ!!
松山英樹 マスターズ5位
入賞おめでとう

<大塚、海内、馬場、太田、齋藤>

- ・東北復興支援 継続を!!

<浜中、潮田、小林(博)>

- ・100%出席の表彰をして戴きまして誠に有難うございました。

<笹生>

- ・結婚祝の素敵なお花、有難うございました。47回目の記念日です。

<松本>

- ・結婚記念日に花束を戴きまして誠に有難うございました。

<上野>

- ・父、上野政男の葬儀に際し尾泉会長をはじめ多くの皆様のご会葬を賜り、またお手伝いを頂きました事に御礼申し上げます。お陰様をもちまして滞りなく終える事が出来ました。なお、突然の事とはいえ、東北旅行のドタキャンや炉辺会合の日程にご迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げます。

<天笠>

- ・急に3週間程入院してしまいました。又、5月1日から2週間程入院予定です。

「日本人の好きな中国、嫌いな中国 文化史的な視点から」



「大紀元時報」元編集長
一般社団法人 古典芸術振興会
牧 聡 士 様

漢語のなかにおける「文化」とは、中国伝統文化の価値観に基づき人間を正しい方向に導く、能動的な意味をもつ言葉です。

中国の歴史は、各王朝の隆盛と滅亡が繰り返される大変激しいものでした。しかし、いかなる乱世にあっても、伝統文化は、乱れた世を鎮め、人心を安定させて社会を再建する重要な役割を果たしてきました。五千年ともいわれる中国の歴史は、まさしく文化の力によって綿々と営まれてきたのです。

中国伝統文化は、儒・仏・道という三つの思想によって包括できます。人間関係に秩序をもたせる「儒」。慈悲や慈愛を心に抱き、人々に善を勧める「仏」。無為自然を旨として、人間のあるべき姿を説く「道」。それらは、中国のみならず、日本を含む東アジア世界における精神的規範となりました。

なかでも日本人は、古来より漢文の書物を読み、中国文化を受容してきました。私たちは、伝統文化を尊重し、正しく継承してきた中国を、心から好きだったのです。

しかし残念なことに、今日の中国を見ると、日本人が好きだったかつての中国とはかけ離れた状態になっています。そのため、今の中国は、日本人にとって「親しみを感じない国」になってしまいました。

環境汚染、食品公害、官僚の腐敗など、尽きることのない現代中国の諸問題。その究極的な原因は、1949年から今日まで続く現政権が、伝統文化を破壊したことにより、人々が道徳を失ったことにあります。

そのような祖国の惨状に心を痛めた海外在住の華人がいました。彼らのなかの、世界一流のアーティストが集結し、伝統文化の復興を目指して、06年、米ニューヨークで立ち上げたのが神韻芸術団です。

中国政府と全く関係をもたない神韻のステージは、演目の全てが中国伝統文化を基盤としており、世界一流の公演として高く評価されています。